

ボビンの特長と使い方

特長

- ワインダーにセットしてヨコ糸を巻きつけ、舟形シャトルに入れて使います。
- 巻いた糸がこぼれにくい、耳付きボビンもあります。
- 耐熱120度なので、ワインダーで撚った糸の撚り止めもラクラク！
- 管（くだ）とも呼ばれる織り道具です。

使い方



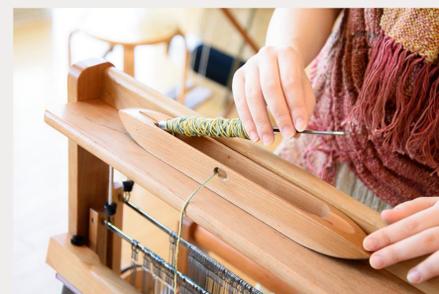
①糸の端をボビンに7回ほど巻きつけます。



②ボビンをスピンドルに差し入れ、ワインダーのハンドルを回して糸を巻きます。



③ボビンの端は糸が落ちないように1cmほど空け、左右に振りながら巻きます。



④巻き終わったらハサミで切り、シャトルの芯棒に差し入れ、シャトルの穴の内側から外に出してセット完了です。



POINT

耐熱120度なので、スピンドルで紡いだ糸や、撚った糸の撚り止めもできます。